

ユーザーズガイド

お買い上げありがとうございます。

ご使用の際には、必ず以下の記載事項をお守りください。

- ご使用の前に、必ず本書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上でご使用ください。
- 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。
- 本書は保証書と一緒に、大切に保管してください。

- 本機器の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
- 本書の内容は予告なく変更されることがあります。
- 本書の著作権は株式会社プリンストンにあります。
- 本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。
- 本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、および登録商標です。
- 本書では®™は明記しておりません。
- 本書の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。予めご了承ください。

株式会社プリンストン

2025年9月 初版

Copyright © 2025 Princeton Ltd.

目次

同梱品	1
仕様	1
使用上の健康と安全に関するご注意	2
使用上のご注意	2
安全上のご注意	2
キーボードに関するご注意	3
印字通りに正しく入力できない？（キーボードの配列設定）	3
キーボードの準備	3
LED の動作について	3
OS モードの切り替え（Mac ⇄ Windows）	3
Mac モードのキー操作	4
Windows モードのキー操作	4

Mac モード・Windows モード共通のキー操作	4
左 [Windows] キーをロック／解除する	4
NKRO (N キーロールオーバー) を有効／無効にする	4
RGB バックライトについて	5
ファームウェアの書き換えについて (DFU モード)	6
VIA app について	7
VIA app の主な使い方	8
リセット／工場出荷時の状態に戻す	10
製品保証に関して	11
困った時は？	11
テクニカルサポート	11

同梱品

本製品のパッケージの内容は、次の通りです。

お買い上げのパッケージに次のものが同梱されていない場合は、販売店までご連絡ください。

キーボード本体	1
USB ケーブル (USB-A ⇄ USB-C / ケーブル長：約 1.8m)	1
USB ケーブル (USB-C ⇄ USB-C / ケーブル長：30cm)	1
キーボードバッグ	1

仕様

商品名	AIRONE PRO
接続方法	有線 USB
キー配列	日本語 JIS 配列
キー数	72 キー
キーキャップ	ABS
キー印字	レーザー刻印 + UV コーティング
キースイッチ	Cherry MX ULP
バックライト	RGB
ホットスワップ	×
マクロ機能	○
ポーリングレート	USB : 1,000Hz
N キーロールオーバー	○
QMK/VIA	○
メディアキー	○
電源	USB パスパワー
本体サイズ	W 314mm × D 105mm × H 13.7mm
重量	約 387g

■ 対応 OS (2025 年 8 月現在 ※)

Windows 11 / 10, macOS

※ macOS は Sequoia にて動作確認済み。

※ OS のアップデートやハードウェアの仕様変更により対応できかねる場合がございます。予めご了承ください。

■ 動作環境に関するご注意

- 本製品はホットプラグ対応製品ですが、OS 起動中に抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になる場合がございますのでご注意ください。
- KVM スイッチ (CPU 切替機) や USB ハブを併用した環境での動作は保証しておりません。
- USB2.0 もしくは USB1.1 ポートへの接続を推奨します。
- USB3.0 ポートでのご使用は、BIOS の設定変更が必要な場合があります。
- セットアップの際は、管理者権限を持つユーザーでログインしてください。

使用上の健康と安全に関するご注意

- ・長時間のご使用は身体への負担が大きく、場合によってはお身体に違和感（痛みや痺れ、筋肉異常など）が生じる可能性があります。お身体に違和感を感じる前に休息を確保してください。
- ・お身体に違和感を感じた場合、直ちに本製品の使用を中止してください。休息しても改善しない場合や使用後すぐに違和感を感じる場合、使用時以外でも違和感が続く場合は、長時間の製品使用を避けるなどしてください。また必要に応じて医師にご相談ください。
- ・使用中は本体が熱を持つ場合があり、長時間ふれたままにすると低温火傷の原因となる場合がございますのでご注意ください。異常な発熱を感じた際は、直ちに使用を中止して接続している機器から取り外してください。

使用上の注意

本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。定期的にバックアップを取るなどの対策を予め行ってください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますので予めご了承ください。

安全上の注意

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本製品のご使用に際しては、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、必要なときすぐに参照できるように、本書を大切に保管しておいてください。

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようにになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。

危険	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うなど人身事故の原因となることがあります。
注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生することがあります。

危険
○ 本製品はパソコンなどの一般的なOA機器に使用することを目的に設計・製造されています。
人命に直接関わる場所や医療機器、輸送機器などの高い信頼性が要求される用途や目的には使用しないでください。

警告
○ 次のような異常が発生したときはそのまま使用したり、パソコンに接続しないでください。
「煙が出ている、変な匂いがあるなど異常があるとき」「内部に液体や金属物、異物が入ってしまったとき」「落下したり強い衝撃が加わったとき」「破損したとき」
このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因になります。接続されている機器を取り外し、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
○ 次のような使用しないでください。
「本製品を分解、改造する」「水などの液体で濡らす」「本製品の上に物を置く」「調理台のそばなど油煙があたる場所、浴室等、湿気の多い場所で使用する」「コネクターに異物を挿入する」「濡れた手で設置や操作をする」
これらの使用は本製品の火災、感電、破損、怪我の原因になりますので絶対におやめください。
○ ケーブルを使用する際は下記のような使用はしないでください。
「ケーブルに負荷をかけたり無理な力で巻く」「ケーブルのコネクターが正しく接続されていない状態で使用する」「ケーブルを接続したまま持ち運ぶ」
これらの使用は本製品の火災、感電、破損、怪我の原因になりますので絶対におやめください。

図記号の意味

- 注意を促す記号（△の中に警告内容が描かれています。）
- 行為を禁止する記号（○の中や近くに禁止内容が描かれています。）
- 行為を指示する記号（●の中に指示内容が描かれています。）

注意
○ 次のような場所に設置・放置しないでください。火災、感電、怪我の原因になることがあります。

「湿気や埃が多い場所」「ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所」「調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気があたる場所」「直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になる場所」「強い磁界が発生する場所」

- 次のような場所で使用しないでください。火災、感電、怪我、故障の原因になることがあります。
「湿気や埃が多い場所」「ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所」「調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気があたる場所」「直射日光やストーブのような熱器具の近くなど、高温になる場所」「強い磁界が発生する場所」
- 下記の用法に従い正しくご使用ください。誤った使用は火災、感電、怪我、故障の原因になります。
 - お手入れの際は、接続されている機器を取り外してください。汚れがひどい場合は、中性洗剤等で拭き取ってください。シンナーやベンジンなどは、絶対に使わないでください。
 - 長い間使用しない場合は、接続されている機器を取り外してください。
 - 本書記載の動作環境内でご使用ください。
 - ケーブルは接続方向をよく確認の上、接続してください。
 - 本書に記載されている以外の機器を接続しないでください。

キーボードに関するご注意

- 本製品のキーを外しできません。
- USB の仕様上、「白色」と表現している箇所は、確かに青みがかった白になります。
- 本製品はホットプラグ対応製品ですが、OS 起動中に抜き差しを繰り返すと、動作が不安定になる場合がございますのでご注意ください。
- KVM スイッチ (CPU 切替機) や USB ハブを併用した環境での動作は保証しておりません。

- USB2.0 もしくは USB1.1 ポートへの接続を推奨します。
- USB3.0 ポートでのご使用は、BIOS の設定変更が必要な場合があります。
- セットアップの際は、管理者権限を持つユーザーでログインしてください。

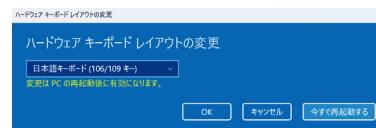
印字通りに正しく入力できない？（キーボードの配列設定）

現在使用しているキーボードや OS の設定によっては、本製品を接続してもキーの印字通りに入力できない場合がございます。（例：[Shift] + [8] を入力したら [()] (括弧) ではなく [*] が入力されるなど）必要に応じてキーボードの配列設定変更を行ってください。詳しい設定方法はご使用の OS のヘルプを参照してください。

■ 例：Windows 11 の場合

- Windows マークを右クリック→「設定」を表示
- 「時刻と言語」を選択
- 「言語と地域」を選択
- 「言語」の「日本語」の [...] アイコンから「言語のオプション」を選択
- キーボードの「キーボードレイアウト」から「レイアウトを変更する」を選択

6. 「ハードウェアキーボードの変更レイアウトの設定」で使用するキーボード配列を選択して「今すぐ再起動する」を押して PC を再起動します。



（例：英語キーボード（101/102 キーボード）から日本語キーボード（106/109 キーボード）に変更する時は「日本語キーボード（106/109 キー）」を選択します。）

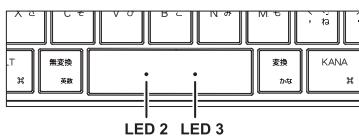
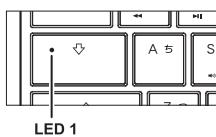
キーボードの準備

キーボード上部の USB-C ポート（左右 2箇所）とパソコンの USB ポートを、付属の USB ケーブルで接続します。



本製品の USB ポートは排他接続です。左右いずれか一方のポートしか稼動しませんのでご注意ください。

LED の動作について



① LED1

CapsLock のオン／オフを表示。CapsLock がオン の時に点灯（白色）します。

② LED2

1 回点灯（白色）	Mac モードに切替時 NKRO (N キーロールオーバー) の切替時 [Windows] キーロックの切替時
3 回点滅（白色）	リセット時

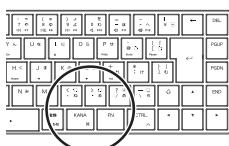
③ LED 3

1 回点灯（青色）	Windows モードに切替時
3 回点滅（白色）	リセット時

OS モードの切り替え (Mac ⇌ Windows)

macOS で使用する (Mac モード)

[FN] キーを押しながら [> る] キーを 2 秒間長押しします。
モードが切り替わると [LED2] が 1 回点灯（白色）します。



Mac モード
[FN] + [> る] → [LED2]
2 秒長押し [白] 1 回点灯



Mac モードのキー操作について

「Mac モードのキー操作」「Mac モード・Windows モード共通のキー操作」を参照してください。

Windows で使用する (Windows モード)

[FN] キーを押しながら [< ね] キーを 2 秒間長押しします。
モードが切り替わると [LED3] が 1 回点灯（青色）します。



Windows モード
[FN] + [< ね] → [LED3]
2 秒長押し [青] 1 回点灯

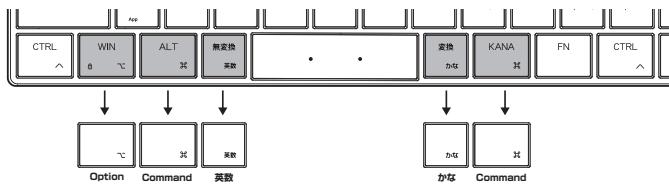


Windows モードのキー操作について

「Windows モードのキー操作」「Mac モード・Windows モード共通のキー操作」を参照してください。

Mac モードのキー操作

- 左 [Windows] キーと左 [ALT] キーが入れ替わり、[Option] キーと [Command] キーの機能が追加されます。
- mac の JIS キーボードの [英数] キーと [かな] キーの機能が追加されます。



Windows モード時	Mac モード時の動作
左 [Windows] キー	左 [Option] キーとして機能
左 [ALT] キー	左 [Command] キーとして機能
右 [ALT] キー	右 [Command] キーとして機能
[無変換] キー	[英数] キーとして機能
[変換] キー	[かな] キーとして機能

● Mac モード時の [FN] キー操作に関して

[FN] キーを押しながら特定のキーを押すことで下記の操作が可能になります。

例：ディスプレイ輝度を下げる場合 → [FN] キーを押しながら [1] を押す

キー操作	動作
[FN] キーを押しながら	[KANA] キー + [1] キー～[~(チルダ)] キー [F1] キー～[F12] キーと同じ動作
	[1] キー ディスプレイ輝度を下げる *1
	[2] キー ディスプレイ輝度を上げる *1
	[3] キー Mission Control
	[4] キー LaunchPad
	[7] キー 前のトラックへ *2
	[8] キー トラックの再生／一時停止 *2
	[9] キー 次のトラックへ *2
	[0] キー ミュート（消音）
	[- (ハイフン)] キー 音量を下げる

*1：ラップトップ／ノート機種のみ機能します。外付けディスプレイでは動作しません。

*2：Apple Musicなどのメディアプレーヤーが起動中の時に動作します。

Windows モードのキー操作

[FN] キーを押しながら特定のキーを押すことで下記の操作が可能になります。

例：電卓を起動する → [FN] キーを押しながら [Y] キーを押す

キー操作	動作
[FN] キーを押しながら	[1] キー～[~(チルダ)] キー [F1] キー～[F12] キーと同じ動作
	[Y] キー 電卓を起動
	左 [Windows] キー 押す毎に左 [Windows] キーをロック／解除

Mac モード・Windows モード共通のキー操作

キー操作	動作
[Esc] キー	` (バックオート)
[Q] キー	前のトラック
[W] キー	再生／一時停止
[E] キー	次のトラック
[S] キー	音量上げる
[D] キー	音量下げる
[F] キー	ミュート
[P] キー	[PrtSc] (PrintScreen) キーと同じ動作 mac モードでは [Shift] + [Command] + [4] と同じ動作になります。
[@] キー	[Scroll Lock] キーと同じ動作
[〔 (左大括弧)] キー	[Pause] キーと同じ動作
[; (セミコロン)] キー	[Insert] キーと同じ動作
[H] キー	[Home] キーと同じ動作
[I] キー	[↑] キーと同じ動作
[J] キー	[←] キーと同じ動作
[K] キー	[↓] キーと同じ動作
[L] キー	[→] キーと同じ動作
[Z] キー	[APP / Menu] キーと同じ動作
[↓ (CapsLock)] キー	本製品の RGB バックライト点灯／消灯の切り替え (Toggle RGB)
[M] キー	本製品の RGB バックライトの点灯モード変更 *1
[↓] キー	本製品の RGB バックライト輝度を下げる *1
[↑] キー	本製品の RGB バックライト輝度を上げる *1
[←] キー	本製品の RGB バックライトの点灯速度を遅く *1
[→] キー	本製品の RGB バックライトの点灯速度を速く *1
[A] キー	本製品の RGB バックライトのカラー変更 *1
[N] キー	N キーロールオーバーを有効／無効にする
[R] キー (長押し)	出荷時設定に戻す (リセット)

*1：本製品のバックライトがオンの時に動作します。また、バックライトの点灯モードによってはカラー変更と速度変更できないものがあります。

左 [Windows] キーをロック／解除する

[FN] キーを押しながら 左 [Windows] キーを押すと、LED2 が1回点滅（白色）して、左 [Windows] キーがロックされます。
ロック時は Windows キーの LED が白点灯します。

ロックを解除する場合、再度上記操作を行ってください。

NKRO (N キーロールオーバー) を有効／無効にする

[FN] キーを押しながら [N み] キーを押すと、LED2 が1回点滅（白色）して NKRO が有効になります。
無効に戻す場合、再度上記操作を行ってください。

RGB バックライトについて

[FN] キーを押しながら [M] キーを押す毎に、バックライトの点灯モードを下記表の点灯順に切り替えることができます。

[FN] + [M も]

■ 点灯モードの種類と順番

点灯順	点灯モード	キー入力による変更／調整			VIA app ^{*1} による調整		
		カラー調整	スピード調整	カラー調整	スピード調整	輝度調整	
1	BREATHING モード	○	○	○	○		
2	MATRIX SOLID COLOR モード	○	×	○	×		
3	CYCLE LEFT RIGHT モード						
4	RAINBOW MOVING CHEV モード						
5	CYCLE OUT IN DUAL モード	× ^{*3}	○	○ ^{*3}	○	○	
6	DUAL BECON モード						
7	RAINBOW BECON モード						
8	RAINDROPS モード	× ^{*3}	×	○ ^{*3}	×		
9	SOLOD REACTIVE モード	○	○	○	○		
10	無点灯 ^{*2}		×				

*1：後述「VIA appについて」参照

*2：この無点灯はVIA app(後述)のバックライト設定の「All Off」では無く「CUSTOM_EFFECT_OFF」になります。VIA appの「All Off」の切り替えをキーで行う場合は、[FN]キーを押しながら[↓(CapsLock)]の「Toggle RGB」になります。

キーマッピングの詳細は「VIA appの主な使い方」を参照してください。

*3：RGBモードで発光しているため、[FN]+[A]でカラー変更を行っても変化はありませんが、後述のVIA appのバックライト設定にあるカラー変更で彩度の調整のみ可能です。

■ バックライトの操作と設定変更

バックライトの操作と設定変更は[FN]キーと一部のキーを組み合わせて行います。

バックライトのカラー変更

[FN]キーを押しながら[A]キーを押すとバックライトの色が変化します。

前述「点灯モードの種類と順番」の「1・BREATHING モード」「2・MATRIX SOLID COLOR モード」「9・SOLOD REACTIVE モード」でのみ使用可能です。

輝度調整（消灯含む5段階）

・[FN]キーを押しながら[↓]キーを押す毎に輝度が暗くなります。

・[FN]キーを押しながら[↑]キーを押す毎に輝度が明るくなります。

速度調整（5段階）

・[FN]キーを押しながら[←]キーを押す毎に変色速度が遅くなります。

・[FN]キーを押しながら[→]キーを押す毎に変色速度が速くなります。

ファームウェアの書き換えについて (DFU モード)

△注意

- QMk Configurator 等により作成したカスタムファームウェアに関してはサポート対象外となります。
- 弊社提供のファームウェア以外を使用したことによって生じるいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

本製品はオープンソースファームウェア QMk (Quantum Mechanical Keyboard) によるファームウェアの書き換えが可能です。

操作手順

- キーボードと接続しているパソコンで下記 URL にあるメニューから「Keyboards」をクリックしてください。リストから本製品を検索後、「Firmware」をクリックして、最新のファームウェアをダウンロードしてください。

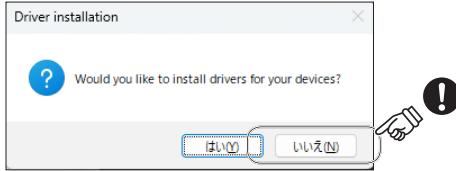
URL <https://qmkm.frm/>

- キーボードと接続しているパソコンで下記 URL から『QMk Toolbox インストールプログラム』をダウンロードしてインストールを行ってください。

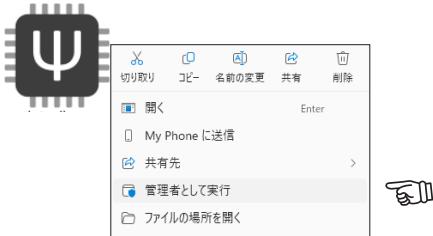
URL <https://qmkm.frm/toolbox/>

△注意 ファイアウォールソフト等によりプログラムが実行できない場合がございますので、予めプログラム実行の許可を設定しておいてください。

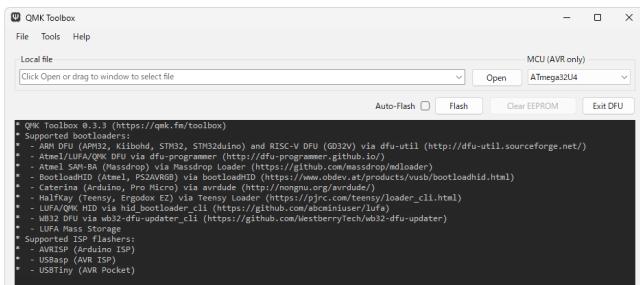
インストール後に QMk Toolbox を起動すると「Driver installation」のウィンドウが表示されますが「いいえ」を選択して一度 QMk Toolbox を終了してください。



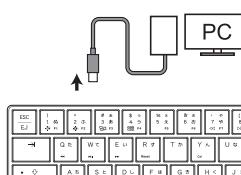
- インストールした QMk Toolbox を管理者権限で起動します。
※ 管理者権限での起動は下記手順にある「Driver Installation」で必要になります。



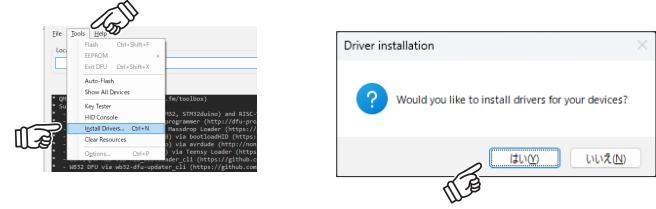
- QMk Toolbox プログラムが起動します。



- パソコンと接続している USB ケーブルをキーボードから取り外します。



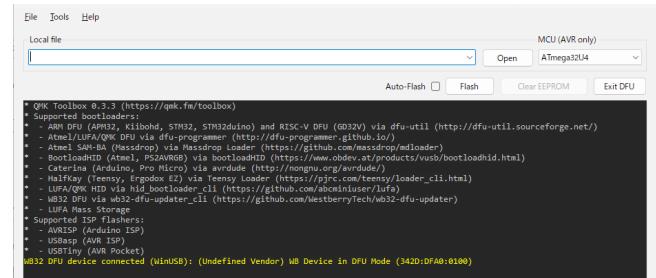
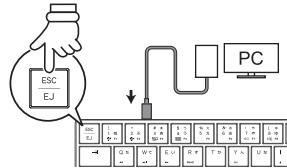
- メニューの「Tools」→「Install Drivers」を選択します。「Driver Installation」のウィンドウが表示されますので、「はい」ボタンをクリックしてください。



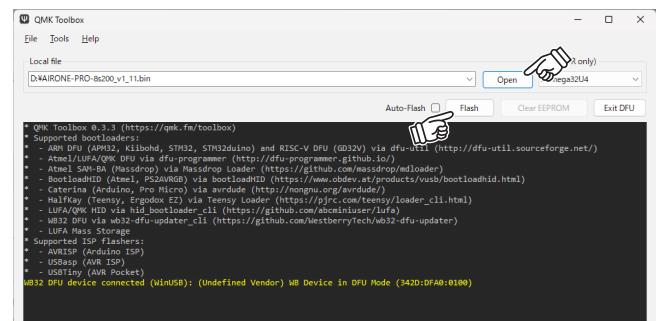
コマンドプロンプトのウィンドウが開き、各 DFU ドライバーのインストールが行われます。(インストール完了後このウィンドウは自動で閉じられます。)

- [ESC] キーを押しながら、USB ケーブルを再接続すると、QMk Toolbox プログラム上に「DFU device connected」(キーボードが DFU モードで接続されたことを示すメッセージ) が表示されます。

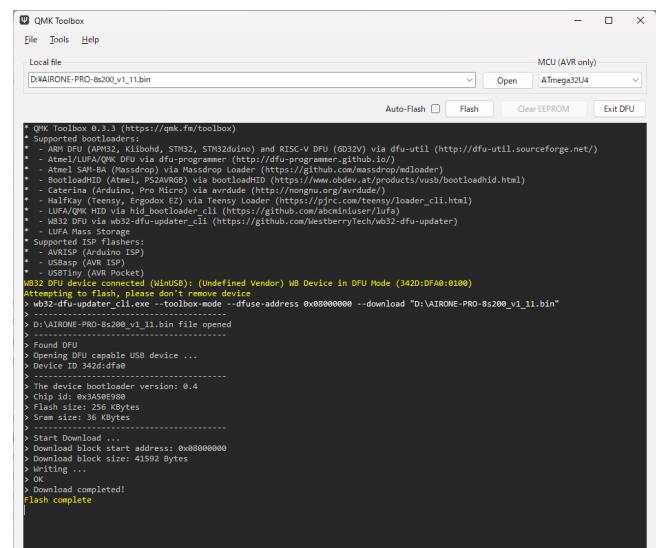
* パックライトは消灯した状態です。



- 開く(Open)を押してファームウェアファイルを選択し、「フラッシュ(Flash)」を押してファームウェアの書き換えを開始します。



- 書き換えが完了すると、画面下部に「フラッシュが完了しました(Flash completed)」というメッセージが表示されたら書き換え完了です。



VIA appについて

△注意

VIA app のご利用には Edge や Chrome などの Chromium 系ブラウザとインターネット接続が必要です。
キーボードを接続しているパソコンがインターネットに接続していることをご確認の上、ご利用ください。

本製品は VIA app によるキーボードのカスタマイズが可能です。

- キーのリマップ（マッピング）
- マクロの作成と割り当て
- キーボード設定の保存／読み込み
- バックライトの設定

VIA app の準備

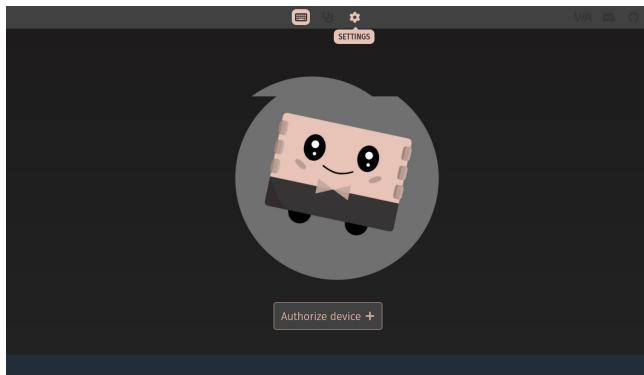
1. キーボードと接続しているパソコンで下記 URL から『JSON ファイル』をダウンロードしてください。

URL <https://www.princeton.co.jp/product/accessory/mlmd68proj.html>

2. 引き続きキーボードと接続しているパソコンで下記 URL にアクセスします。

URL <https://usevia.app/>

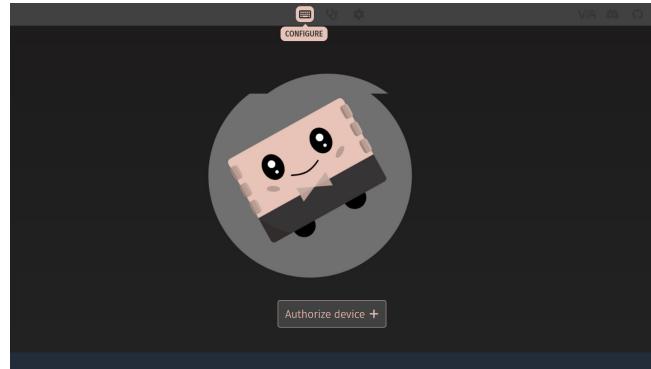
3. 画面上部の「設定」をクリックして設定画面を表示します。



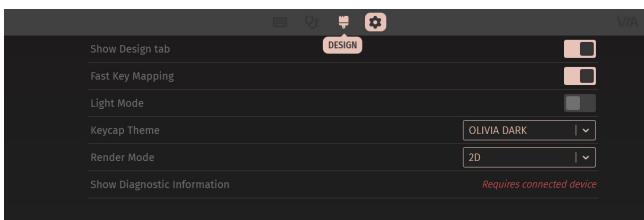
6. 『JSON ファイル』が正しく読み込まれると画面上部にキーボードの図が表示されます。



キーボードを接続した状態で画面上部の「CONFIGURE」をクリックすると認証画面が表示されますので「Authorize device」をクリックします。



4. 「Show Design tab」のスイッチをオンにすると、画面上部に「DESIGN」アイコンが表示されます。「DESIGN」をクリックしてデザイン画面を表示します。



5. 注意画面の内容を了承したら「Confirm」をクリックします。



usevia.app が HID デバイスへの接続を要求しています

AIRONE PRO



接続

キャンセル

7. 本製品のキーボード画面が表示されたら準備完了です。



レイヤー

本製品には6種のキーレイアウト（レイヤー）を設定可能です。
番号をクリックしてレイヤーを選択するとキーボードの表示（キーマップ）が変わります。
キーのマッピング（キーの割り当て）をする際は、どのレイヤーのキーを変更するか確認してください。

本製品の初期設定は以下の通りです。

LAYER0	Windows モードのキーマップ
LAYER1	Windows モードで [FN] キーと同時押しした場合のキーマップ
LAYER2	Mac モード時のキーマップ
LAYER3	Mac モードで [FN] キーと同時押しした場合のキーマップ
LAYER4	Mac モードで [FN] キー + [KANA] キーと同時押しした場合のキーマップ

 レイヤー機能については後述「キーボードレイヤーの移動について（LAYERS）」を参照してください。



キーのマッピング（KEYMAP／キーの割り当て）

任意のキー入力を下記種類のキー機能に変更することが可能です。
画面左端のアイコンから「KEYMAP」を選択するとマッピング画面が表示されます。

BASIC	英数字キー、記号キー、修飾キー、スペース、Enter、Tab、Backspace など 主に「通常入力で使用するキー」を割り当てる際に使用します。
MEDIA	主に「メディアコントロール関連のキー」を割り当てる際に使用します。
MACRO	ユーザーが作成したマクロ（M0～M15）が表示されます。 複数のキー入力（例：Ctrl+C、Ctrl+V）を1つのキーに割り当て可能です。 ※ マクロを割り当てる際は後述の「マクロ（MACROS／マクロの作成と割り当て）」を参照して、予めマクロを作成してください。
LAYERS	各 LAYER（レイヤー）への移動するためのキーを割り当てる際に使用します。  レイヤー機能については後述「キーボードレイヤーの移動について（LAYERS）」を参照してください。
SPECIAL	特殊キー（ナビゲーションキー、システムコマンドキーなど）を割り当てる際に使用します。
LIGHTING	キーボードのパックライトをコントロールするキーを割り当てる際に使用します。
CUSTOM	OS モード（Windows モード／Mac モード）の切り替えキーを割り当てる際に使用します。



■ マッピングの手順

1. 画面左端のアイコンから「KEYMAP」を選択するとマッピング画面が表示されます。
2. 画面左上の「LAYER」からマッピングするレイヤーを選択します。
画面上部のキーレイアウトに現在の設定が表示されます。
「▽」はレイヤー移動前のキーと同じ動作をします。
3. 画面上部のキーレイアウトから変更するキーを選択すると、選んだキーが点滅します。
4. 画面下部のキー一覧から登録したいキーを選ぶと、画面上部の点滅しているキーの表示が変わります。



■ キーボードレイヤーの移動について (LAYERS)

キーボードレイヤーを使用することによって限られたキーボードスイッチで複数の機能を使用することができます。レイヤー移動方法には下記のような方式があります。

Fn1 (Fn3) / Fn2 (Fn3)	MO のように押した時のみ対象のレイヤーに移動します。 移動先のレイヤーにもう片方を準備して 2 つのキーを順に同時に押しした際は LAYER3 へ移動します。
Space	短く押した際はスペースキーとして動作し、長押ししたときは MO と同様の動作になります。
MO	押している間だけ対象のレイヤーに移動し、キーを離すと元のレイヤーに戻ります。(括弧内の数字=移動先のレイヤー番号)
TG	対象のレイヤーにトグルで移動します。 TG でレイヤーを移動した場合、移動先のレイヤーと同じ TG を割り当ててそのキーを押すと元のレイヤーに戻ります。 (括弧内の数字=移動先のレイヤー番号)
TT	MO と同様の動作になります。 5 回連続で押すと TG のように動作します。 (括弧内の数字=移動先のレイヤー番号)
OSL	次に何かキーが入力されるまで対象のレイヤーに移動した状態になります。 キー入力後に元のレイヤーに戻ります。(括弧内の数字=移動先のレイヤー番号)
TO	対象のレイヤーに移動します。(括弧内の数字=移動先のレイヤー番号)
DF	現在のレイヤーに対象のレイヤーのキーマップを一時的にコピーします。 キーボードから USB ケーブルを抜くとレイヤーのキーマップは元に戻ります。(括弧内の数字=移動先のレイヤー番号)



マクロ (MACROS / マクロの作成と割り当て)

任意のキーに予め作成した複数のキー（コマンド）入力を割り当てることができます。

■ マクロの作成手順

1. 画面左端のアイコンから「MACROS」を選択すると、マクロ作成画面が表示されます。
 2. マクロの登録先を「M0」～「M15」から選択します。
最大 16 個のマクロを登録可能です。
 3.  を押して全画面（FULL SCREEN）にします。
 4.  「SMART OPTIMIZATION」、 「RECORD DELAYS」を設定します。

	SMART OPTIMIZATION	<p>オンの状態でキー入力すると、キーの入力時間が自動で最適化されます。</p> <p>オフ (SKIP) の状態でキー入力すると、キー入力する速度がそのまま登録され、マクロ実行時もキー入力した速度で再生されます。</p>
	RECORD DELAYS	<p>オンの状態でキー入力すると、実際にキーを押したときの間隔をそのまま記録します。</p> <p>オフの状態でキー入力すると、キー入力の間隔を最短時間で記録します。</p>

5.  (RECORD KEYSTROKES) を押してキー入力の記録を開始します。

この状態でキーボードを使用して登録する

キーを順番に押します。

キーを押すとキー表示の下に「▼」が表示

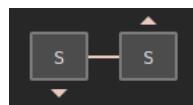
されはり。

キーを放すとキー表示の上に「▲」が表示さ

マクロの記録を終了するには **[■]** を押します。

マクロが記録されると●ボタンの左側に

6. マクロが記録されると●ボタンの左側に
⑤「UNDO CHANGES」、
⑥「SAVE CHANGES」が追加されます

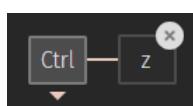


- ### ② 右側に記録される「●」が左の右側に



	UNDO CHANGES	入力したキーが全て破棄されます。
	SAVE CHANGES	入力したキーを保存します。

入力したキーを一つだけ削除する場合は、キー右上の「×」をクリックします。



7. 既に登録済みのマクロを削除する場合は、M0～M15の中から削除したいマクロを選択して [] を押します。



■ コードを使用してマクロを登録する

マクロ作成上部の「< / >」をクリックすると、コード入力画面が表示されます。この画面ではキー入力の順番や間隔をコードで作成することができます。

コード作成の詳細は https://docs.qmk.fm/keycodes_basicなどを参照してください。



設定の保存と読み込み (SAVE+LOAD)

現在の設定を保存したり、保存されている設定を読み込むことができます。
画面左端のアイコンから「SAVE+LOAD」を選択すると、保存／読み込み画面が表示されます。



SAVE	現在の設定をファイルに保存
LOAD	保存したファイルから設定を読み込む

バックライトの設定 (LIGHTING)

バックライトの設定を変更します。点灯状態を確認しながら設定変更が可能です。
画面左端のアイコンから「LIGHTING」を選択すると、設定画面が表示されます。



Brightness	[輝度] : スライダーでバックライトの輝度を調節します。 「All Off」「CUSTOM_EFFECT_OFF」を除く全てのモードで変更可能です。
Effect	[点灯モード] : 点灯モードを選択します。 点灯モードについては「RGB バックライトについて」を参照してください。 キーボードの操作で選択できる点灯モード以外に、以下の2つのモードを選択できます。
All Off	[FN]キーを押しながら [⇧ (CapsLock)]キーを押す「Toggle RGB」と同機能です。
CUSTOM_EFFECT_OFF	[FN]キーを押しながら [M]キーを押す「点灯モード変更」で選択可能な「無点灯」と同機能です。
Effect Speed	[スピード] : スライダーでバックライトの点灯速度を調節します。 「MATRIX_SOLID_COLOR」「RAINBOW」「All Off」「CUSTOM_EFFECT_OFF」を除く全ての点灯モードで変更可能です。
Color	[カラー] : カラーパレットからバックライトカラーを選択できます。 「All Off」「CUSTOM_EFFECT_OFF」を除く全てのモードで変更可能です。 「BREATHING」「MATRIX SOLID COLOR」「SOLOD REACTIVE」以外のモードでは彩度の調整のみ可能です。

点灯モード	カラー調整	スピード調整	輝度調整
All Off			×
MATRIX SOLID COLOR モード	○	×	
BREATHING モード	○		
CYCLE LEFT RIGHT モード			
RAINBOW MOVING CHEV モード			
CYCLE OUT IN DUAL モード			
DUAL BECON モード	○*		
RAINBOW BECON モード		○	
RAINBOWS モード		×	
SOLOD REACTIVE モード	○	○	
CUSTOM EFFECT OFF モード			×

※ 彩度の調整のみ可能。

リセット／工場出荷時の状態に戻す

△注意

- リセット操作をすると、全て工場出荷時の状態に戻ります。
- VIA app にて設定を行っている場合、リセット操作の前に設定を保存しておくことをおすすめします。

[FN]キーを押しながら [R]キーを LED 2 と LED 3 が 3 回点滅（白色）するまで長押しします。
LED が消灯したらリセット完了です。

リセット操作後は、本製品を一度パソコンから取り外し再度接続することをおすすめいたします。



製品保証に関して

必ず【製品保証に関して】をよくお読みいただき、十分内容をご理解いただいた上でご使用ください。

困った時は？

製品のよくあるご質問について

製品についてよくあるご質問を紹介しています。

URL <https://faq.princeton.co.jp/>

製品情報や対応情報について

最新の製品情報や対応情報を紹介しています。

URL <https://www.princeton.co.jp/>

テクニカルサポート

Web からのお問い合わせ

URL <https://www.princeton.co.jp/support/contacts>

株式会社プリンストン テクニカルサポート

TEL 03-6670-6848 ※ つながらない場合は、E-mail でのお問い合わせもご利用ください。

受付：月曜日～金曜日の 9:00～12:00、13:00～17:00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）

製品保証規定

保証期間：1年保証

- お買い上げいただいた製品が、取扱説明書等に従った正常な使用状態で万一故障した場合に、本保証規定に従い無料にて故障の修理をいたします。
- 修理の際には製品と本保証書をご提示または添付の上、ご依頼ください。
- 保証期間内であっても、次の場合には有償修理となります。
 - ご購入履歴が確認できない場合。
 - 本保証書のご提示がない場合。または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。
 - 弊社もしくは弊社指定保守会社以外での修理、調整、改造、部品交換に起因する故障および損傷。
 - 接続している他の機器に起因して生じた故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送や移動による落下、水などの液体こぼれ、水没等不適当なお取り扱い、または使用上の誤りにより生じた故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、壊害、落雷、その他天地異変、異常電圧などにより生じた故障および損傷。
 - 寿命を有する部品や消耗品（バッテリー、乾電池等）の自然消耗、耗耗、劣化等による場合。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan）
- 製品保証に関しての記載も併せてご覧ください。

保証書

製品型番：

ご購入日： 年 月 日 保証期間： 製品保証規定を参照

フリガナ

お客様名： 様

〒

住所：

電話番号： - - E-mail :

販売店名・住所・電話番号（販売店印）

印

PRINCETON

株式会社プリンストン

URL: <https://www.princeton.co.jp/>

製品保証に関して

● 万一、正常な使用状態において製品のご購入から1年内に製品が故障した場合は、弊社による故障の原因等の確認完了後、修理・製品交換対応させていただきます。なお、修理にて交換された本体および部品に関する所有権は弊社に帰属するものといたします。

● 修理・製品交換の有償無償の判断につきましては、弊社または弊社指定の保守会社により行わせていただきます。

● 保証の対象となる部分は製品部分のみで、添付品や消耗品は保証対象より除外とさせていただきます。

● 弊社商品どうしの互換性問題である特定用途での動作不良や欠陥などの不正確な問題に関する正確性や完全性については、黙示的にも明示的にもいかなる保証も行っておらず、互換性問題や特定用途での動作不良等により発生する障害、損害、損失等について一切の責任を負いません。

● 一度ご購入いただいた商品は、弊社にて商品自体の不良が確認されない限り、返品または交換はできません。対応機種間違いによる返品はできませんので予めご了承ください。

■ 保証期間内であっても、次の場合は保証対象外となり有償修理となります。

● ご購入履歴が確認できない場合。

● 保証書のご提示がない場合。または記入漏れ、改ざん等が認められた場合。

● 取扱説明書記載の動作条件ならびに機器設置環境を満足していない場合。

● 弊社もしくは弊社指定の保守会社以外での修理、調整、改造、部品交換に起因した故障および損傷。

● 設備、環境の不備等。使用方法および、注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障および損傷。

● お客様が独自にインストールされたソフトウェアに起因して生じた故障および損傷。

■ 保証期間内であっても、次の場合は無償／有償問わず一切の保証はありません。

● 盗難された場合。

● お買上げ製品の故障もしくは動作不良により、その製品を使用したことにより生じた直接、間接の損害、HDD等記憶媒体・記憶装置に記憶されたデータ・プログラムなどに設定内容の消失、破損、変更等により生じる損害、逸失利益、ダウンタイム（機能停止期間）、顧客からの信用喪失による損害、設備および財産の損害、設備等の交換費用、お客様および関係する第三者の製品を含むシステムのミス・プログラム、またはそれらを修復する際に生じる費用（人件費、交通費、復旧費）等、一切の損害につき弊社は、その責任を負いません。また、限定保証の明記がされていない場合であっても、弊社は、契約上または法律上の一切の責任を負いかねます。

■ 弊社は、製品を運用・使用的した結果生じるあらゆる影響につき、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

■ 消費者契約法等により弊社が賠償責任を負うこととなる場合、弊社はお客様が購入された弊社製品などの価格相当額を超えて賠償責任を負うものではありません。

製品修理に関して

● 保証期間内の修理は、弊社テクニカルサポートまでご連絡いただいた後、故障品を弊社まで送付していただきます。故障品送付の際、弊社までの送付はお客様のご負担となりますことを予めご了承ください。修理完了品または代替品をご指定の場所にご送付させていただきます。

● 動作確認作業中および修理中の代替品・商品貸し出し等はいかなる場合においても一切行っておりません。

● お客様が商品を割り切ら1週間以内に、お客様より弊社に対して初期不良の申請があつた場合で、なおかつ弊社側の認定がされた場合にのみ初期不良品として、正常品もしくは新品との交換をさせていただきます。その際はご購入時の梱包、箱、保護材などの付属品等が全て揃っていることが条件となります。

● 製造終了等の理由により交換商品が入手不可能な場合には同等品との交換となります。

● お客様の設定・接続等のミスであった場合、また製品の不良とは認められない場合は、技術料およびチェック料をいただく場合がございますので予めご了承ください。

● お客様の御都合により、有料修理の御用意・キャンセルを行なった場合は技術作業料および運送料を請求させていただく場合がございますので予めご了承ください。

● サポートスタッフの指示なく、お客様の判断により製品をご送付いただいた場合で、症状の再現性が見られない場合、および製品仕様の範囲内と判断された場合、技術手数料を請求させていただく場合がございますので予めご了承ください。

製品／お問い合わせに関して

■ テクニカルサポート・商品および保証に関するお問い合わせ

Web からのお問い合わせ

URL <https://www.princeton.co.jp/support/contacts>

株式会社プリンストン テクニカルサポート

TEL 03-6670-6848 ※ つながらない場合は、E-mail でのお問い合わせもご利用ください。

受付：月曜日～金曜日の 9:00～12:00、13:00～17:00（祝祭日および弊社指定休業日を除く）